

第18回東温市民バレーボール大会開催要項

1 目的

市民相互の親睦交流を目的とし、スポーツを通じて体力の向上を図る。

2 主催

東温市

東温市教育委員会・東温市中央公民館

3 協力

東温市医師会

東温市バレーボール協会・愛媛県立東温高等学校バレーボール部

4 期 日

令和8年6月7日(日) 8:30～

5 会 場

1部 男子 (バレーボール)	男子Aブロック	ツインドーム重信	予選・決勝
2部 (レクバレー)	Aブロック(男性の部)	川内体育センター	予選・決勝
	Bブロック	重信中学校体育館	予選・決勝
	Cブロック	農林業者トレーニングセンター	予選・決勝
	Dブロック	川上小学校体育館	予選・決勝

6 大会役員

大会長	加藤 章	東温市長
副大会長	八木 良	東温市教育委員会教育長
副大会長	東温市教育委員	
運営委員長	曾我部 節美	東温市スポーツ推進委員会委員長
運営委員	東温市スポーツ推進委員・分館体育部長・生涯学習課職員	

7 参加資格

(1)分館対抗とし、市内に在住し、各分館に在住している者で構成する。**参加人数を確保できない分館については、近隣分館との合同チームで参加できるものとする。**

(2)30歳以上の者とする。

1部(バレーボール)「9人制」

【救済措置】

※1 上記(1)(2)の条件を満たす者が9名以下の場合、18歳以上の者を2名まで、また、ふるさと枠(ふるさと枠とは、過去に当該分館に生活実態があり、現在当該分館と異なる住居にある者が選手として登録できる制度。東温市外の方も参加可能。)選手を2名まで加えて登録することができる。

※2 上記(1)(2)の条件を満たす者が10名以上14名以下の場合、18歳以上の者を、1名加えて登録することができる。

※3 男性の部に女性を登録することができる。

2部(レクリエーションバレーボール)「6人制」(男性の部を含む)

【救済措置】

- ※4 上記(1)(2)の条件を満たす者が6名以下の場合、18歳以上の者を2名まで、また、ふるさと枠選手を2名まで加えて登録することができる。
 - ※5 上記(1)(2)の条件を満たす者が7名以上12名以下の場合、18歳以上の者を1名、加えて登録することができる。
 - ※6 **男性の部に女性を登録することができる。**
- (3) 事前に参加者名簿に登録した者とする。(年齢基準日：令和8年4月1日)
- (4) **1部2部男性女性いずれも参加4チーム以上ない場合は開催しない。**

《競技方法》

『1部』(バレーボール) 「9人制」

- ① チーム編成 選手9名・補欠6名・監督1名の計16名以内で編成のこと。
各分館：各1チームを限度とする。
 - ・【救済措置】※1、※2の者は、ポジションは後衛のみとし、アタックは行わない。
この選手について、ふるさと枠は黄テープ、ふるさと枠以外は青テープをつけることとする。
 - ・各試合のチーム編成は、参加名簿に登録している選手及び監督の中から上記16名以内で、オーダー表に登録することとし、オーダー表に登録されていない者は、その試合に出場することができない。
 - ・【救済措置】※3の者の、ポジションは後衛のみとする。
- ② 会場を1ブロックとする。ただし、1ブロックが5チーム以上の場合については、1ブロックに複数の小ブロックを設ける。
- ③ 試合はブロック毎(又は小ブロック毎)にリーグ戦で行う。
1試合25点1セットマッチ、ラリーポイント制、サーブは1本とする。
※ただし、小ブロックは1試合21点1セットマッチとする。
- ④ 全試合について、サーブオーダーは相手側の監督が確認する。
- ⑤ 試合球は、5号(MIKASA MVA300)
- ⑥ 試合前に両チームの代表がトスを行い、サーブ権又はコートを決める。
- ⑦ タイムアウトは、1セットにつき2回まで(1回30秒間)とする。
- ⑧ コートは、21.0m×10.5mとする。
- ⑨ ネットの高さは、2.30mとする。
- ⑩ 小ブロックを設けた場合は、ブロック(会場)の決勝戦を行い、優勝・準優勝を決定する。
ただし、3位決定戦は行わない。なお、ブロック(会場)に小ブロックを3以上設けた場合については、優勝・準優勝をリーグ戦により決定する。小ブロックを設けなかった場合については、リーグ戦の勝敗によりブロック(会場)優勝・準優勝を決定する。
- ⑪ ブロック(会場)の決勝戦は、15点3セットマッチ、ラリーポイント制、サーブは1本と

する。

⑫デュースは設けない。

⑬メンバーチェンジは1セット3回までとする。※交代して退いた選手は、そのセット中は入れない。

⑭チェンジコートは設けない。

⑮ブロック毎(又は小ブロック毎)の順位を決定する際に勝敗が同率の場合

(1)ポイント率により勝敗を決定する。 $\text{ポイント率} = \frac{\text{全試合の総得点}}{\text{全試合の総失点}}$

(2)監督によりジャンケンで勝敗決定する。※(1)で決しなかった場合

⑯審判への抗議、相手選手への暴言は一切認めない。違反した者については、各会場担当のスポーツ推進委員が退場を命ずることができる。ただし、キャプテンマーク(赤テープ)をつけている者のみスポーツ推進委員に確認を行うことができる。

大会開催の趣旨を尊重する。

⑰各チームの第一試合目のみ、乱打3本を行ってから試合に入る。

⑱上記以外は、日本バレーボール協会9人制競技規則に準ずる。

『2 部』 (レクリエーションバレーボール) 「6人制」

① チーム編成 選手6名～9名・監督1名・補欠4名の計14名以内で編成のこと。

各分館2チームを限度とする。

(男子の部を第17回から新設、参加4チーム以上)

・【救済措置】※4、※5の者は、⑭に規定する男性と同様の制限を受ける。この選手について、ふるさと枠は黄テープ(18歳から29歳は2本の黄テープ)、ふるさと枠以外は青テープをつけることとする。

・各試合のチーム編成は、参加名簿に登録している選手及び監督の中から上記14名以内で、オーダー表に登録することとし、オーダー表に登録されていない者は、その試合に出場することができない。

②試合は、各ブロック別で行う。(優勝・準優勝を決定し、3位決定戦は行わない。)

③予選は小ブロックによるリーグ戦とし、上位2チームが決勝トーナメントへ進出する。

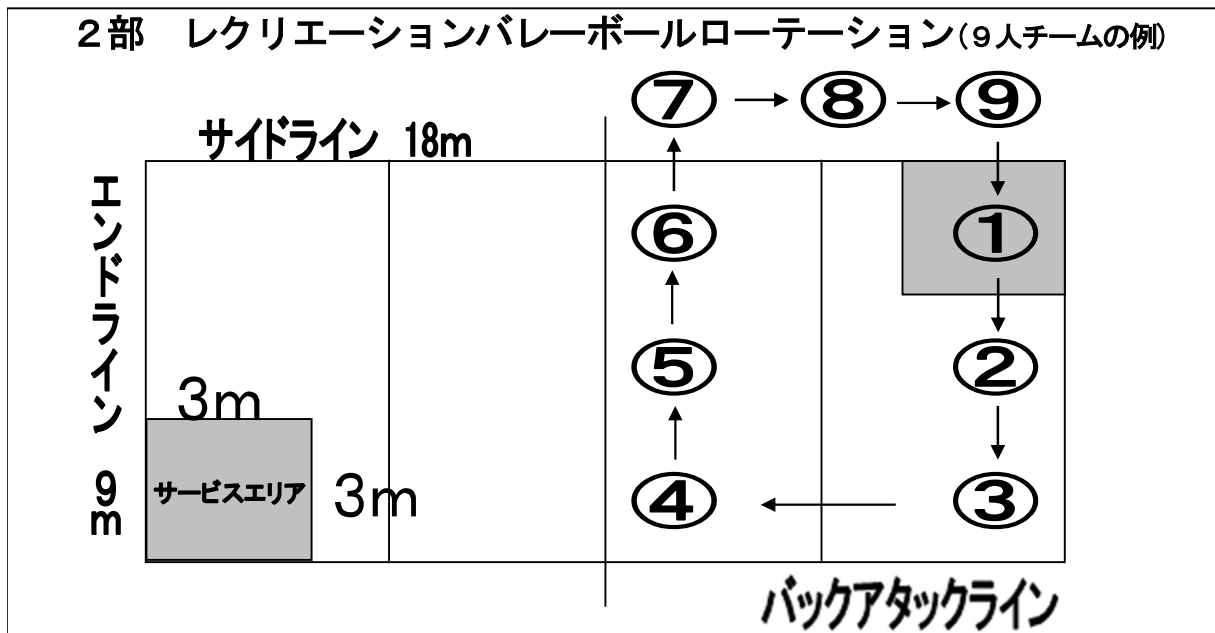
21点1セットマッチ、ラリーポイント制とし、チェンジコートは設けない。

④決勝トーナメントは、25点1セットマッチ、ラリーポイント制で行い、チェンジコートは、設けない。

⑤全試合について、サーブオーダーは相手側の監督が確認する。また、サーブは1本とし、打ち方はアンダーハンドサービス(ネットに正対してボールを体の前で構え、腕のふり方が体に平行でコート面に垂直にふられている状態で行う)とする。

⑥試合球は、球状で特性ゴムによるレクリエーションバレーボールとする。

- ⑦試合前に両チームの代表がトスを行い、サーブ権又はコートを決める。
- ⑧タイムアウトは、2回まで(1回30秒間)とする。
- ⑨コートは、18m×9mとする。
- ⑩ネットの高さは、2.20mとする。(男女とも)
- ⑪デュースは設けない。
- ⑫メンバーチェンジは、3回までとする。※交代して退いた選手は、そのセット中は入れない。
- ⑬ローテーションは、相手チームからサービス権を得たとき、下図のローテーションとする。
- ⑭前衛の男性(男性の部を除く。)は、攻撃することはできない。後衛の男性は、バックアタックラインを超えて攻撃することはできない。(後衛の男性が攻撃を行う場合は、バックアタックラインより後ろで行い、着地の第1歩目がラインの後ろでないといけない。ラインを超える、もしくはライン上はアウトとなる。)
- ⑮ ⑭以外の攻撃などに関して以下のとおりとする。
 - ・18歳から29歳までの選手は、いかなる場所においても攻撃できない。
 - ・男性の部において、30歳以上のふるさと枠の選手の攻撃は可能とする。
 - ・男性の部以外の30歳以上のふるさと枠の選手は、⑭のルールに従う。
 - ・男性の部以外の男性はブロックできない。
 - ・打点が水平以上(水平または上方向へのボールが飛ばば)攻撃とみなさない。



⑯ 予選順位

予選で勝敗が同率の場合

(1) ポイント率により勝敗を決定する。 ポイント率 = $\frac{\text{全試合の総得点}}{\text{全試合の総失点}}$

(2) 監督によりジャンケンで勝敗決定する。※(1)で決しなかった場合

⑰審判への抗議、相手選手への暴言は一切認めない。違反した者については、各会場担当のスポーツ推進委員が退場を命ずることができる。ただし、キャプテンマーク(赤テープ)をつけている者のみスポーツ推進委員に確認を行うことができる。

大会開催の趣旨を尊重する。

⑱各チーム第一試合のみ、乱打3本を行ってから試合に入る。

⑲上記以外は、愛媛県レクリエーションバレーボール協議会ルールブックに準ずる。